

国語科学習指導案

単元名：

「固有種が教えてくれること」

(全6時間扱い中 第4時)

授業日時 2021年10月19日(火) 第3校時

授業学級 5年1組

授業会場 5年1組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立て&ねらい)

(○○の子ども達が)○○の場面で、○○を通して、○○を□□することができる/できるようになる。

固有種の住む自然環境と私たちの暮らしのつながりについて疑問を持った子どもたちが、固有種の住む自然環境と私たちの暮らしはどのように関わっているのかを考える場面で、カモシカとライチョウの生息環境と私たちの暮らしのつながりを探すことを通して、私たち人間は自然環境の恩恵を受けて暮らしていることに気付き、固有種を大切にしようと思うことができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1 前回の振り返りをする	「僕もそう考えた、だって山を守らないと気が少なくなって酸素少なくなる」 「どういつながりがあるんだろう」	「前回までの授業のみんなの振り返りの中に、“固有種の住む環境を守ることが地球温暖化防止に繋がるんじゃないか”“私たちの暮らしに関連しているのでは?”という意見がありました。これについて納得?どういうことって思う?」	5
	【学習問題】“固有種の住む自然環境”と“私たちの暮らし”はどのようにつながっているのだろうか?			

展 開	2 固有種の生息環境の例を提示する	「ニホンカモシカについて調べた。カモシカは本州、四国、九州の山岳地帯にいるんだよ」 「ライチョウかわいい、山の頂上みたいなのところにいる」	カモシカ、ライチョウについての動画を提示する【スライド】 カモシカ：山岳地帯、広葉樹 ライチョウ：高山植物の生える高所	5
	【学習課題】長野県の固有種を例に、私たちの暮らしとのつながりを考えてみよう			
	3 自然と私たちの暮らしのつながりを考え、話し合う	「木とかいろんな植物がある」 「雪山にも住んでいるよ」 「木は空気をきれいにする」 「木はがたくさんあると、地球温暖化防止に繋がる」 「木は木材になって家とか紙になる」 「地球温暖化は両方に関わる大事なことだよ」 「地球温暖化防止できないと生きていけない」	・自然環境と人間の暮らしのつながりを、カモシカ・ライチョウの住む環境から考える 「カモシカの住んでいる所には何がいっぱいある？」 「木って私たちが生きていくために、人間にとってどんな役割がありそう？」 「今関挙げてくれた中で、動物にも人間にも、大事なことって何だろう？」 「みんなが調べてくれたような自然がないと、私たちはどうなる？」 ※雪どけ水に関する資料あり 【スライド資料あり】	15
	4 3から私たちの暮らしはどのように支えられているか、どんな良いものを与えてくれるか考える	「山の木が地球温暖化防止してくれてるってことは、私たちの暮らしを支えてくれるよね」 「地球温暖化がこれ以上進行すると生きていけない」 「水はないと生きていけない、ないと困るもの、永遠に必要なものだ」	「山の木や雪解け水によって、私たちの暮らしってどう支えられているかな？ どんないいものをもたらせてくれているかな？」	15
終 末	6 振り返りをする	「自然の様々なことが、私たちの暮らしにつながりがあることが分かった」 「固有種を守ることで私たちも暮らすことができる」	・私たちの暮らしは自然の恩恵を受けていることと繋がることを確認する ・固有種が持続可能に暮らしていくために必要な環境を教えてくれていること	7
【本時の評価（評価する対象）】 自然環境の恩恵を受けて暮らしていることに気づき、固有種を大切にしようと思うことができる（ノート）				